

## 本校へのアクセス



## 東京都立日比谷高等学校

住所 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-1  
 電話 03 (3581) 0808  
 ファクシミリ 03 (3597) 8331  
 ウェブサイト <https://www.hibiya-h.metro.tokyo.jp>



# 東京都立日比谷高等学校

令和5年度 学校案内

## 令和5年度 学校説明会等の御案内

実施日程	内容	時間	会場	実施日程	内容	時間	会場
7/17 (月)	学校見学会	9:30~/11:00~	星陵会館	8/16 (水)	小学生対象学校見学会	13:00~	星陵会館
7/25 (火)	学校見学会	9:30~/11:00~	星陵会館	10/14 (土)	学校説明会	9:30~/11:00~	星陵会館
7/26 (水)	学校見学会	9:30~/11:00~	星陵会館	11/11 (土)	学校説明会	9:30~/11:00~	星陵会館
8/14 (月)	学校見学会	9:30~/11:00~	星陵会館	12/2 (土)	入学相談会	10:00~/13:00~	本校
8/15 (火)	学校見学会	9:30~/11:00~	星陵会館	3/23 (土)	学校説明会	9:30~/11:00~	星陵会館

\*日程・詳細等は本校ウェブサイトでご確認ください



校舎南側



校舎正面



体育館棟



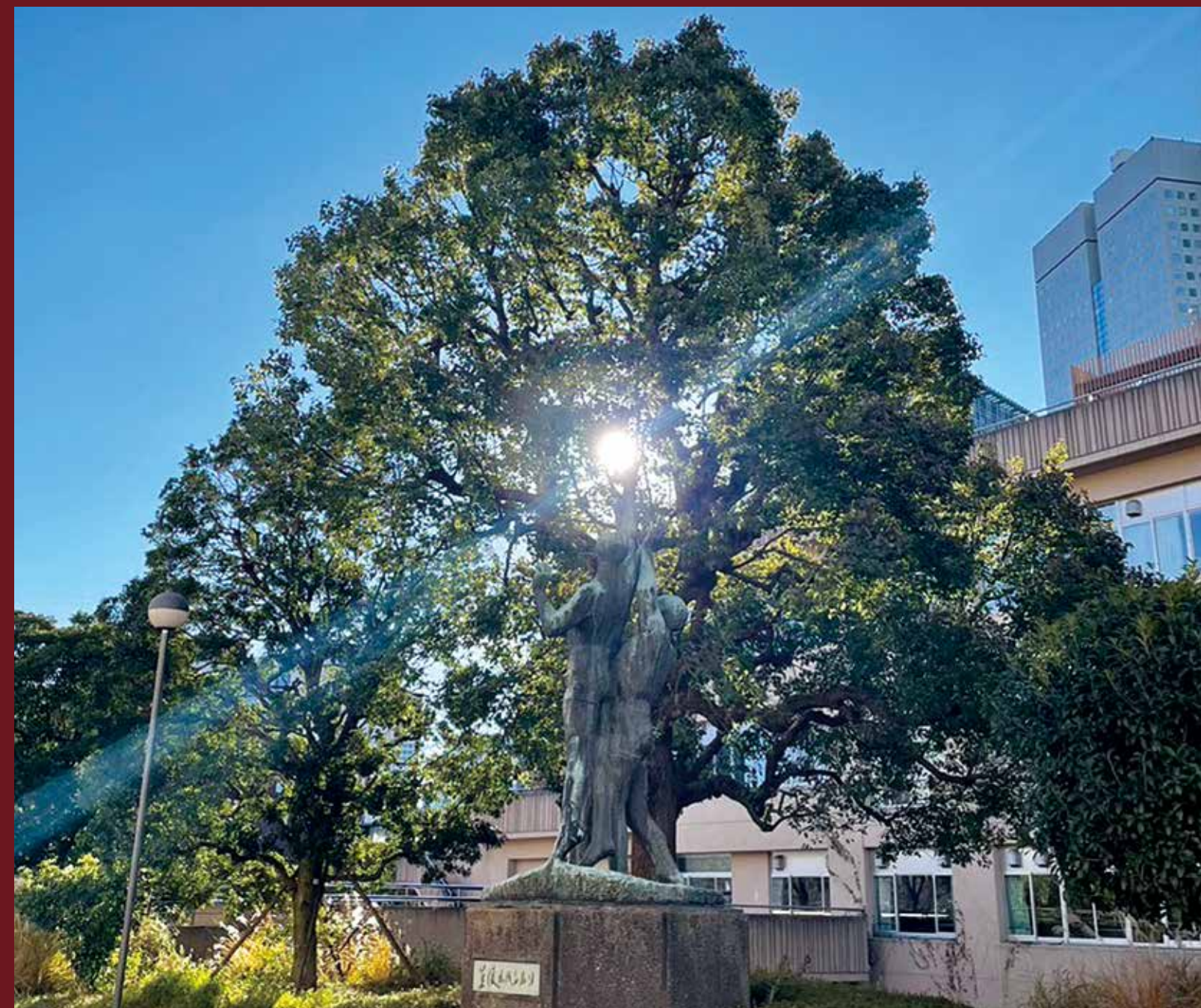
星陵会館



勝山寮

### 星陵会

星陵会とは本校と本校PTAおよび同窓会等から選出された理事・評議員で運営されている公益財団法人です。本校に隣接する星陵会館と千葉勝山寮を運営し、生徒の活動を援助しています。



# 日比谷

表紙写真：令和4年度3年在学写真部生徒作品

表紙「日比谷」毛筆タイトル：令和4年度1年在学生徒作品



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

百周年記念像「星陵われらあり」彫刻家 松阪節三氏（昭和26年卒業）制作



# 本校を目指す中学生へ



## 「探究力」と「学び続ける姿勢」を強化する日比谷

東京都立日比谷高等学校

校長 梅原章司

本校は、将来の日本のリーダーとなり得る高い資質をもった生徒に対し、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、思考力、判断力、表現力を鍛え、難関国立大学等への進学希望も実現させることのできる学校として、東京都教育委員会から進学指導重点校に指定されています。学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく身につけ、将来グローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目指しています。

皆さんは、グローバル社会の進展や人工知能の飛躍的な進化など急速に変化する社会にあって、習得した様々な知識・技能を活用し、新たな価値を生み出す創造的・論理的思考力、物事の真理や意味等を追究する探究力、更には、科学的探究能力、情報活用能力を伸ばさせることが期待されています。また、グローバル化に対応するため、実践的な語学力を習得するとともに、日本人としての自覚と誇りを涵養すること、豊かな国際感覚を醸成すること、相手の

考えを理解した上で論理的に説明・反論・説得できる能力を身につけることも必要です。

本校では、授業、学校行事、部活動、生徒会・委員会活動など学校生活全体を通して、新たな知や価値を生み出す上での土台となる「確かな教養」を身につけ、様々な取組に対しチームとして協働作業を行うための「豊かな人間性」を育むことはもちろん、卒業後も大きく飛躍しようとする「学び続ける姿勢」を育成していきます。

また、1年生全員が履修する理数探究基礎の授業では、自然科学のみならず、人文科学・社会科学などを含め、生徒個々のテーマ設定を可能とした上で、その課題に対する仮説を立て、それを検証し、一定の結論へと導く探究的学びを経験できます。

高い志をもった生徒たちが、様々な活動を通して、切磋琢磨し、互いに高め合う学校生活を送っています。本校では、そのような環境のもと、自らの能力を一層伸ばさせようという意欲の高い皆さんを待っています。

## スクール・ミッション

「自律的人格」「学習と教養」「責任と協調」「心身の健康」「文化と平和」を教育目標に、自主自律、文武両道の精神を貫くとともに、学問の本質に触れる楽しさや知的好奇心を喚起する様々な取組を行い、21世紀を逞しく切り拓くグローバル・リーダーとして活躍する人材を育成します。

## 教育目標

- 1 自律的人格**  
自律的で個性豊かな、しかも調和のとれた人格を確立し、進んでものごとを実行していく態度を養う。
- 2 学習と教養**  
自主的・自発的な学習活動と特別活動を通して知性と情操を磨き、将来社会の有為な形成者となるための豊かな教養を身につける。
- 3 責任と協調**  
学校組織の一員として自己の責任を果たすと同時に、互いの立場を考え、協力していく態度を養う。
- 4 心身の健康**  
清潔で健康な生活を心がけるとともに、進んで心身を鍛え、困難にあってもくじけない強い気力を養う。
- 5 文化と平和**  
わが国ならびに世界各国の文化と伝統の理解を深めるとともに、国際協調の心構えを養う。

# カリキュラム

本校は、前期・後期の二期制で、三大行事の体育大会、合唱祭、星陵祭はいつでも前期に行われ、後期は教科学習に集中します。

年4回の定期考査は、概ね次の時期になります。

6月上旬	前期中間考査
9月上旬	前期期末考査
12月上旬	後期中間考査
3月上旬	後期期末考査 (1・2年生のみ)

完全学校週5日制のもと、1日7時間制を採用し、週35時間の時間割を組んでいます。

授業の1単位時間は45分ですが、密度の濃い授業により50分授業と同様の効果を目指しています。



### 時間割例(1年生)

	月	火	水	木	金	土
1	8:25 ~9:10 英語 英語	数学	英語 英語	地学基礎	論理・表現I	土 曜 講 習
2	9:20 ~10:05 体育	地理総合	数学	数学	生物基礎	
3	10:10 ~10:55 体育	英語 英語	数学	公共	生物基礎	
4	11:05 ~11:50 地学基礎	現代の国語	公共	地理総合	芸術	
5	12:00 ~12:45 現代の国語	生物基礎	論理・表現I	歴史総合	芸術	
6	13:30 ~14:15 数学	情報I	言語文化	言語文化	歴史総合	
7	14:25 ~15:10 数学	情報I	T	保健	言語文化	
8	15:20 ~16:05	人間と社会	理数探究基礎			
9	16:10 ~16:55			不定期に実施		

注1 「数学」は、前期が「数学I」、後期が「数学A」及び「数学II」。  
注2 「T」は、ホームルーム活動(本校は「学級タイム」と呼称)。  
注3 「芸術」は、「音楽I」「美術I」「書道I」から選択。

### 令和6年度入学生 教育課程表

1年次共通必修		2年次共通必修		3年次文類型必修		3年次理類型必修	
新課程	単位数	新課程	単位数	新課程		単位数	
現代の国語	2	論理国語	2	論理国語		2	
言語文化	3	古典探究	3	政治・経済		2	
地理総合	2	日本史探究	2	体育		3	
歴史総合	2	世界史探究	2	英語コミュニケーションⅢ		4	
公共	2	数学Ⅱ	3	論理・表現Ⅲ		2	
数学Ⅰ	3	数学B	1	古典講読	5	数学Ⅲ 数学C2	7
数学Ⅱ	1	数学C	1				
数学A	2	物理基礎	3	世界史演習 日本史演習 地理探究	4※	物 理 生 物 学	4※
生物基礎	3	化学基礎	3	英語コミュニケーションⅢ	2		
地学基礎	2	体育	3	総合的な探究の時間		1	
体育	2	保健	1	自由選択科目(0~11)			
保健	1	芸術Ⅱ (音美書)	2※	古典演習	2	物 理	4
芸術Ⅰ (音美書)	2※	英語コミュニケーションⅡ	4	日本史演習	4	物理基礎演習	1
英語コミュニケーションⅠ	3	論理・表現Ⅰ	2	世界史演習	4	化学基礎演習	1
論理・表現Ⅰ	2	論理・表現Ⅱ	2	地理演習	2	化学基礎演習	1
情報Ⅰ	2	家庭基礎	2	地理探究	4	生物	4
理数探究基礎	1	人間と社会	理科	倫理	2	生物基礎演習	1
人間と社会	理科	自由選択(0~4)		政経特講	2	地学基礎演習	1
	35単位	第2外国語	2	文系数学演習	4	理数探究発展	1
		理数探究	2	理系数学演習	2		
			35~39単位				

注1 1単位とは、通年の場合週一時間(45分)授業があることを示します。  
注2 「人間と社会」を「総合的な探究の時間」にあてます。  
注3 ※はそれぞれの枠内で1科目を選択します。  
注4 「第2外国語」は、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンゲルの中から選択します。  
注5 ポイントとは、1、2年次の2年間で「人間と社会」の内容を学習するポイントリザーブ制のことを指します。  
注6 自由選択科目を履修しなくても、卒業に必要な単位を修得可能です。



# 教科指導

(令和元年度以前の写真も含まれています)

## 国語

表現されたものを正確に理解し、理解したことを的確に表現する力、それが国語の学習で養う力です。これは、すべての教科学習の基礎となる力とも言えるでしょう。

国語科では、古典を含むさまざまな良質の文章を、副読本や問題集を活用しながら幅広く段階的に読み進めることで、語彙力を高め論理的思考力を伸ばす指導を工夫します。

また、一斉の講義だけではなく、グループ学習や発表学習を積極的に採り入れることで相互に個性を高め合い、総合的な国語力が伸長する授業を展開しています。



## 地歴・公民

【歴史総合】「日本史」と「世界史」を融合して日本と世界の歴史を関連づけ、資料を活用しながら、近現代の歴史を考察します。

【地理総合】身近な「もの」や「地域」から世界全体に至るまでの事象を扱いながら、地理的な見方や考え方を養います。

【公共】現代の諸課題について倫理・法・政治・経済的に追究したり解決方法を探究したりします。また主権者教育、消費者教育、金融教育にも取り組みます。

【日本史探究】史・資料を重視し多用することで、素材に基づいて自ら考える学習を行います。

【世界史探究】進学指導の充実を図る中で、歴史学の基礎的教養の獲得を目指します。

【政治・経済】政治・経済分野の基礎的知識の習得と共にそれを生かした見方・考え方を身につけます。



◀ 社会科ホールの世界地図

## 数学

1学年では、教科書や問題集を用いて基礎力を充実徹底させます。

2学年では、基礎に加えて、より発展的な内容の習得も目指します。また、生徒の多様な進路に対応した習熟度別多展開授業を行います。1・2学年で、全員が大学入学共通テストに十分対応できる力を身につけることを目標とします。

3学年の理系選択では、「数学Ⅲ・数学C」を必修とし、他は自由選択となります。「数学Ⅲ・数学C」では前期で教科書の内容を終え、後期は大学入試問題演習を行い、国公立大理工系・医学系学部で現役合格可能な学力の習得を目標とします。また、文系選択では、年間を通して大学入試問題演習を行います。



## 理科

自然に対する関心と探究心を高めることを第一の目標にしています。

【地学】地球や宇宙に対する関心を深め、自然を総合的に見る能力を育てます。

【生物】生命と生物世界の不思議さを解き明かす能力を高めます。

【物理】基本原理・法則を理解させ、物理学的に探究する能力を高めます。

【化学】化学の基本概念や原理・法則を理解させ、化学的に探究する能力を高めます。



## 英語

1年次には、基礎力の養成と積極的なコミュニケーションを図る姿勢を養い、2年次には書き手の意図を読み取る力と、自分の考えを明確に文章に表す力を伸ばします。3年次では、応用力の養成を目指し、特に読む力と書く力を強化します。

これらの目標実現のために論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは少人数のクラス編成をとります。また英米の教材や四技能検定試験なども取り入れて、単に大学受験だけでなく将来社会で必要とされる英語力がつくような授業を行います。



## 保健体育

【体育】運動の基礎を学ぶとともに体力の向上を図り、運動に対する興味・関心を高める事を目標としています。豊かな心身の育成と、運動を含めたあらゆることに主体的に行動できるようになる事を目指します。

【保健】健康・安全についての理解を深め、健康的な生活が送れるよう、心身の健康の保持増進に関する知識や実践力を養います。



## 芸術

【音楽】発声の基本と合唱祭への取り組み、独唱や一人一人パートによるア・カペラやアンサンブル等に取り組みます。それと並行して楽典や音楽史を学習します。

【美術】1年では、デッサン・油絵など、美術の基礎力となる描く力を高める学習を行い、2年ではデザイン・色彩などの学習を行います。

【書道】様々な書体・書風の古典作品を通じ、多様な表現技法を身に付け、創意工夫を凝らした書作品をつくり上げます。2年ではグループでの制作・研究活動など1年で学んできたことをさらに深めます。



## 家庭

これからの人生や生活を自分らしく送ることができるよう生きていく力を学ぶ教科です。

家族関係や消費生活、衣・食・住、保育、環境などの授業を通じ、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けると共に、社会や世界も見定め、自分の生活設計を考えていきます。



## 情報

情報科では、「情報」を科学的に分析し、問題の発見・解決に「情報技術」を適切かつ効果的に活用する資質や能力を育成します。具体的な学習内容としては、情報社会・問題解決・コミュニケーション・情報デザイン・コンピュータ・プログラミング・情報通信ネットワーク・データの活用があります。IoT、ビッグデータ、AIなどが活用される社会において、基礎となる学びです。情報科の学びを通して、価値創造型の問題解決能力を身につけましょう。



## 第2外国語

ドイツ語、フランス語、中国語、\*ハンゲルの中から選択できます。

ドイツ語、フランス語は、それぞれドイツ人の先生、フランス人の先生とのティームティーチングです。発音と会話を中心とした学習を行います。

中国語、ハンゲルでは、読み書きになれるとともに、それぞれの文化について理解を深めていきます。

\*本来「ハンゲル」という名前の言語はありませんが、本校では Korean の言語をこのように呼んでいます。





# SSH スーパーサイエンスハイスクール

本校のSSHの特徴は、全校生徒が対象であり、文系理系に拘わらず誰でも自主的に希望すれば参加活動出来るのが大きな特徴です。東京大学をはじめとする近隣の大学や研究機関と連携を図り、学問や科学技術の最先端の現場に直接触れ、第一線の研究者の助言・指導や講義を受けられる機会を設け、生徒の進路選択や学問追求のモチベーションの高揚に努めています。1年次では全員が「理数探究基礎」に取り組むとともに、2年次では「理数探究」、3年次では「理数探究II」を選択科目として探究活動を実施しています。SSH指定17年目となり、卒業生の中には、すでに博士課程や海外の大学に進学・留学する生徒も大勢出始めています。

## SSHの具体的な取組の一部紹介（実施例）

- ・ **高大連携、産学連携に向けた取組**  
SSH特別講演会や大学教授による出張授業・研究室訪問と研究体験  
企業講演・工場見学  
創造性を育む探究的な授業の指導法の開発
- ・ **国際化に向けた取組**  
海外の大学・企業との交流や連携  
米国西海岸・ハワイ島海外派遣研修  
英語による各種講演会  
生徒の英語によるプレゼンテーション
- ・ **生徒による課題研究活動の推進**  
各種研究発表会参加  
科学オリンピック・コンテスト等への積極的参加

## （過去5年間の取組の様子）



授業「理数探究I」中間構想発表会

SSH特別講演会



東京大学理学部化学科訪問

理化学研究所訪問

英語による物理学講座

城ヶ島地質巡検

## SSH米国シリコンバレー（サンフランシスコ・サンノゼ）・ハワイ島海外派遣研修（令和元年度実施の様子）



カリフォルニア大学バークレー校

キラウエア火山トレッキング・レクチャー

富士通アメリカ

すばる天文台

## SSH課題研究II（沖縄派遣研修・大島フィールド実習）（令和3年度実施の様子）



大島フィールド実習（地層断面）

大島フィールド実習（三原山）

沖縄派遣研修（サンゴ養殖体験）

沖縄派遣研修（大浦湾の開発と保全）

# Global Education Network 20

「人類の平和や社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成」を目標に掲げ、海外派遣研修の実施や国際理解教育の推進、外国語教育の充実など、積極的に事業を展開しています。東京都教育委員会からは、「Global Education Network 20（令和4年度指定）」、「海外学校間交流推進校（令和4年度指定）」の指定を受けています。

## 具体的な取組の一部紹介

- ①グローバルリーダー育成研修
- ②ミチュホル外国語高等学校（韓国）との姉妹校連携による相互訪問交流
- ③その他の事業  
大学や研究所、大使館などの外郭団体とも連携し、研修や講演会等を実施
- ④英語教育の充実（JET英語指導員の特別配置、オンライン英会話、ケンブリッジ英語検定の受験など）

## ①グローバルリーダー育成研修（令和元年実施の様子）



ハーバード大学にて

MIT 教授による講義

## 令和2～4年度は国内で研修しました



東大農学生命科学研究科教授による提言作成指導

アспен研究所への提言発表



国際バカロレア授業体験

ウォール街にて講義

アспен研究所でのプレゼンテーション

国際連合本部見学

## ②姉妹校交流



韓国・ミチュホル外国語高校との交流（令和元年実施の様子）

令和4年度オンライン交流の様子

## ③その他の事業（一部紹介）



ハーバードプライズブック授与式

全国高校生フォーラム参加

ディベート大会参加

JETによる特別授業『米国最高裁判決について』

経産省訪問「福島復興への取組」

三井住友銀行本店訪問

メキシコ大使館文化交流

オンライン英会話（1年）



# 学校行事

(令和元年度以前の写真も含まれています)

4	入学式 前期始業式 健康診断 生徒会役員選挙 生徒総会
5	遠足 体育大会 前期中間考査 (5～6月)
6	合唱祭
7	英語スピーチコンテスト 夏季休業 (～8月) 夏期講習 部活動合宿
8	部活動合宿 夏季校外行事 ・臨海教室 (千葉勝山寮) ・夏山キャンプ 夏期講習 グローバルリーダー育成研修
9	前期期末考査 卒業生講演会 星陵祭 前期終業式



## 三大行事

5月の体育大会、6月の合唱祭、9月の星陵祭は「三大行事」と呼ばれています。生徒自らが考え、主体的に作り上げる伝統的な行事です。

- ◀ 入学式
- ▼ 体育大会



▲ 星陵祭



▼ 卒業式



後期始業式 実力テスト 進路講演会	10
後期中間考査	11
冬季休業 (～1月上旬) 冬期講習 冬季校外行事 ・スキー教室 (長野県志賀高原)	12
冬期講習	1
	2
後期期末考査 (1・2学年) 卒業式 修学旅行 (2学年) 球技大会 星陵セミナー 修了式 春季休業 春期講習 姉妹校交流 (韓国)	3

## 校外行事

臨海教室、夏山キャンプ、スキー教室は、長期休業期間中に希望者を募って実施する、伝統的な校外行事です。日比谷のOB・OG組織が指導を行います。



臨海教室



臨海教室



夏山キャンプ



スキー教室







# 歴史と伝統・先輩方

本校は明治11年(1878年)に、東京府第一中学として生まれました。

その後、明治32年に日比谷公園のとなり校舎に移り、昭和4年(1929年)に現在の永田町の校舎となりました。当時は東京府立第一中学校という名称でした。

校地は星が丘と呼ばれる高台にあり、江戸時代には岸和田藩主岡部家の屋敷、大正時代には銀行家の村井吉兵衛の屋敷だったところですが、今でも村井邸の石垣と倉庫(現在は本校の記念資料館になっている)がそのまま残されています。昭和25年に、日比谷高校という名称となり、男女共学の新制高校として現在に至っています。

本校は昭和53年に創立100周年を迎え、それを機に校舎を全面改築することになり、4年の歳月をかけて現在の位置に校舎が完成しました。

そして、平成30年(2018年)には創立140周年記念式典を挙行了しました。この140年を超える歴史の中で、「文武両道」という理念と、「自主・自律の精神」という校風が生まれ、その理念と校風は今日まで引き継がれ、今も尚、脈々と息づいています。

卒業生の中からは、日本画家・横山大観(明治18年卒)、作家・谷崎潤一郎(明治38年卒)、陶芸家・浜田庄司(大正2年卒)、作家・大佛次郎(大正4年卒)、評論家・小林秀雄(大正9年卒)、政治学者・丸山眞男(昭和6年卒)、評論家・江藤淳(昭和28年卒)、作家・庄司薫(昭和31年卒)、作家・塩野七生(昭和32年卒)、ノーベル生理学・医学賞受賞者・利根川進(昭和33年卒)など、各界にわたり著名人が多く輩出されています。

また、夏目漱石も少年時代の一時期に本校で勉強していました。



日比谷高校旧校舎



日比谷高校正門



浜田庄司作 大壺



横山大観作「富士」



## 大望遠鏡「すばる」を誕生させた 小平桂一先輩

小平氏は本校を昭和30年に卒業した先輩で、現在、東京大学名誉教授です。

先輩は、国立天文台長として在任中に半生を懸けて、科学者・技術者・起業家・官僚・政治家といったさまざまな人々と協力しあい、ハワイ島マウナケア山頂(外国領土)に単一鏡としては世界一の口径の大望遠鏡「すばる」建設を実現しました。世界中の夢をせおった人類の眼「すばる」の構想から完成まで、20年の歳月がかかりました。この実行力の源は日比谷高校で培われたと先輩は述べています。また、他にも恒星のスペクトル解析によって星の物理モデルを構築する恒星の研究なども行なっ

ているばかりでなく、本校の伝統行事・勝山臨海教室の古式泳法・神伝流の達人でもあります。

平成10年に小惑星6500番に「KODAIRA」と命名、平成11年に菊池寛賞受賞、平成13年にカール・シュヴァルツシルト賞(ドイツ国際天文学会)受賞など御活躍中です。そして日比谷高校の在校生へ、夢の実現に向けて信念を貫くことをよしとして、「己を磨け、自分を信じて頑張れ!自分を生き抜け!」とメッセージを力強く発信し、母校を応援されています。



すばる望遠鏡がある国立天文台ハワイ観測所

# 星陵セミナー ～ようこそ先輩～

本校では、総合的な探究の時間での進路探求の一環として2年生3月に「星陵セミナー」を実施しています。

日比谷高校の基本的姿勢の一つに、生徒にとって学校は深い知識と考える力を楽しむ場であるということがあります。

この星陵セミナーは、日比谷高校の諸先輩方の専門力が、

現役生徒の活動に示唆を与えられる場となっています。如蘭会(本校の同窓会)の協力を得て、各分野にわたり講師を配置し、生徒の選択により1教室10~20名前後、2時間半のゼミ形式で実施しています。

最先端で活躍されている先輩から直接講義を受け、あるいは質問ができ、生徒にとって大変有意義な時間です。

<p>法律 三木 祥史 S48 / 大崎・三木法律事務所 弁護士</p> <p>法律 吉田美菜子 S60 / マイル法律事務所</p> <p>経済(金融) 田邊 昌徳 S46 / 日本銀行OB</p> <p>経済(商社) 山田 和茂 S48 / 三菱商事OB</p> <p>ダイバーシティマネジメント 稲葉美穂子 S48 / ライオン株式会社OB 多様な人材の活躍推進担当部長</p> <p>経営(スタートアップ) 石原良太郎 S48 / 株式会社ロビーム 代表取締役社長</p> <p>企業 柴田 実 S48 / 株式会社ヒューマンフォワード代表取締役 (経営コンサルタント) 前厚生労働省 女性の活躍推進協議会 委員</p> <p>金融・経済/人事・教育/国際協力 白田 直哉 S46 / みずほ信託銀行OB 元JICAシニアボランティア</p> <p>メディアと人間 坂上 達夫 S48 / 放送コンテンツ制作者 元NHK ディレクター・プロデューサー</p> <p>水文学 水資源学 辻村 真貴 S59 / 筑波大学 教授</p> <p>データサイエンス 西田 義秀 H6 / 日本マイクロソフト株式会社 エンタープライズサービス事業本部アカウントテクノロジーストラテジスト</p> <p>IT システムズ・エンジニア(SE) 大塚 純一 S48 / 日本アイ・ビー・エムOB ブロックチェーンベンチャー Kaula 社創業者、元CTO</p>	<p>知識論 佐倉 統 S54 / 東京大学大学院 情報学環教授</p> <p>実験物理学 岡野 達雄 S41 / 東京大学 名誉教授</p> <p>建築設計 建築意匠 岸田 省吾 S45 / 東京大学 名誉教授 岸田建築設計事務所 所長</p> <p>サステナビリティ学 味埜 俊 S48 / 東京大学 名誉教授 東京大学 東京カレッジ 副カレッジ長・特任教授</p> <p>ロボット工学 広瀬 茂男 S41 / 極限環境ロボット(HERO)研究所 所長 株式会社ハイボット アドバイザー 東京工業大学 名誉教授</p> <p>プロジェクト開発、事業経営 稲畑 廣行 S48 / 三菱電機 宇宙システム事業部長 三菱スペースソフトウェア 社長 ダイナミックマップ基盤株式会社 会長</p> <p>在宅医療 飯島 治 S60 / いいじまホームクリニック 院長</p> <p>内科学・健康管理 加園 恵三 S49 / 医師・内科医 医療法人博仁会共済病院 健診センター</p> <p>医学(緩和ケア) 清水 研 H2 / 公益財団法人がん研究会 有明病院 腫瘍精神科 部長</p> <p>生物学、脳科学 鹿野 悠 H22 / スタンフォード大学 生物学科 M.Schnitzer 研究室 博士研究員 日本学術振興会 海外特別研究員</p> <p>新薬開発 中村 篤 S48 / メルクセロノ株式会社OB 臨床開発センター シニア・クリニカル・ディベロップメント・リーダー</p>
--	---

## 在校生よりひとこと



生徒会長  
森田 康介

ここまで読んできた皆さん、日比谷高校にどんな印象を持っていますか。勉学のイメージが強かったかもしれません。それでも、日比谷高校がただ勉強一本槍の学校ではないと知っていただけたと思います。

もちろん、勉強するには最高の環境です。高レベルの授業や図書館や自習室などの充実した設備により、いつでも集中して勉学に取り組むことができます。講演会ではあらゆる分野のエキスパートの貴重な話を聞くことができ、自分の進路実現に大いに役立つことでしょう。そして何よりも共に学力を高められる、素晴らしいクラスメートが

います。しかし、勉強を言い訳に行事や部活動に妥協することはありません。限られた時間の中でも、メリハリを付けながら課外活動に取り組んでいます。特に夏休みになると、学校中で星陵祭の準備が進められています。行事に全力を尽くしながらも、勉学も疎かにしない。それが日比谷高校の素晴らしさです。

ここには、最高の高校生活が待っています。是非とも勉強に励んで、日比谷高校の合格を掴み取ってください。



